

視察（案）について

1 経過

平成 29 年度第 2 回の本委員会（平成 30 年 1 月開催）で大木町、みやま市の視察を行った。

(1) 大木町

ア 生ごみ、し尿、浄化槽汚泥から液肥を製造する施設、おおき循環センター「くるるん」を視察

イ 資源ごみ・粗大ごみを収集する施設や、回収されたものを再利用し、販売するリユースプラザ「くるくる」を見学

(2) みやま市

ア 廃校になった小学校跡地を有効活用して建設するみやま市バイオマスセンターを視察

イ 旧校舎を市民も利用できる施設にして、バイオマスセンターの建設による賑わいづくりの計画についても説明を受けた。

2 視察（案）

前述の視察実施後、平成 29 年度第 3 回の本委員会（平成 30 年 2 月開催）で、平成 30 年度以降、主に議論をするテーマを「環境教育を活用した生ごみの減量化・資源化」とした。

昨年度は資源化の施設（ハード事業）を中心に視察を実施したが、今年度は「環境教育（学習）」（ソフト事業）という視点での先進地の視察を実施したいと考えている。

なお、本市での環境学習の実績としては、平成 23 年度から市内一部の小学校（弓削田小学校、大藪小学校、鎮西小学校）において、NPO 法人大地といのちの会の吉田先生を招き、生ごみによる野菜づくりを行っており、この取組みを発展させる形で環境学習の内容を検討していきたいと考えている。

※具体的な視察（案）は、P 2 に記載

視察先（案）

	視察先	人口	取組概要
案 1	山口県宇部市	17万人	<p>①平成27年度環境省補助事業「学校給食の実施に伴い発生する廃棄物の3R促進実証業務」に参加</p> <p>②小学校を中心に環境学習を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ分別カードを用いたゲーム形式の学習 ・ごみ収集車の仕組みなどの学習 ・家庭で出る生ごみ使ったダンボールコンポストによる堆肥作りの学習 <p>※毎年4月、小学校に対し、市が行う環境学習の取組みを情報提供</p>
案 2	<p>田川市内小学校</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>食品ロス実態調査現場 (田川市川崎町清掃センター)</p>	—	<p>①給食の食べ残しの量、及び調理上の残渣の現状等確認</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>②食品ロス実態調査(※)結果を実際に現場で確認</p> <p>※ごみ収集車の中の可燃ごみ袋から生ごみを分別し、さらに、生ごみの種類（調理くず、食べ残し、手つかずの食品など）ごとに分け、重量を計測</p>